# 内視鏡的切除検体における内視鏡像と病理組織像の対比に関する研究

### 1. 研究の対象

2000 年 1 月以降に当院で内視鏡的粘膜下層剥離術 (食道がん、胃がん、大腸がんの内視鏡治療) を受けられた方 対象予定症例数 50 例

#### 2. 研究期間

倫理委員会承認後~2021 年 12 月 31 日まで

#### 3. 研究目的·方法

現在、消化管の内視鏡検査では、消化管(食道、胃、大腸)の表面構造の観察から、癌などの病変の存在や範囲などを推察しています。正確な内視鏡診断をするためには、病理組織像との対比が重要であり、本研究では、内視鏡画像と病理組織標本を詳細に対比することを目的としており、内視鏡の診断向上に寄与することが期待されます。

方法は、病理診断後の組織標本、検体写真を用い、組織標本、検体写真と内視鏡写真を対 比させることで、内視鏡写真で見られる所見の病理組織像を明らかにします。

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:年齡、性別、病歴、内視鏡画像、病理検体番号 等

試料:内視鏡治療で切除された組織(細胞) 等

なお、本研究に用いる情報や試料は個人が特定できないように匿名化を行います。研究結果の報告に際しても、個人情報が特定できないような状態で公表します。

本研究に用いた情報や試料は岩手医科大学病理診断学講座で研究期間中厳重に保管します。研究終了後も将来にわたって解析する可能性があるため、研究期間中と同様の方法で 厳重に永年保管します。

## 5. 研究費および利益相反

研究費は病理診断学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、 利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係(利益相反)はありません。

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承い

ただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

# 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

研究事務局: 藤田 泰子

岩手医科大学医学部病理診断学講座

〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号

TEL:019-613-7111(内線 2393)

FAX: 019-907-8145

E-mail:fujitaya(at)iwate-med.ac.jp

[(at)を@に変更してご利用ください]

研究責任者: 岩手医科大学医学部病理診断学講座 菅井 有